

広々とした千里ヶ丘球場で



21日午前は南部高校のグラウンドで練習を行った。エース金子周作君(216)は「(グラウンドを貸してもらい)周りの方々に感謝の気持ちを持って練習に臨めた」と話してくれた。

午後からは千里ヶ丘球場へ。同球場は球場の他に、サブグラウンド、室内練習場をもち、50人が練習しうんだので実戦練習に加え、室内練習場でバットイングやバント練習を、サブグラウンドでは1年を中心にノックや基礎的な練習をしたとのこと。

練習について前川大地君(217)は、「実戦感覚だった。守備練習をして、試合の感覚を取り戻すための紅白戦などをした。海辺の球場で気持ち良かった」と語ってくれた。

# 天候に恵まれ

# 和歌山で実戦練習



球場からの景色。海と空がきれいだ。

練習の合間には近くの海岸でダッシュ。堀内健志君(218)は「琵琶湖の浜よりふかふかしていた。不安定だから筋肉を使って足が鍛えられた」。海岸の砂は細かくさらさらで、近くにはウミガメも産卵に来るそう。

主務の京極秀平君(217)は「宿が大部屋でチームの繋がりがより強くなった」、河野亮平君(216)は「ゲーム感覚が磨けた。暖かくなるとけがの心配もあるので、場所を整えてもらって感謝している。自然に囲まれてチーム全員で練習できたことはチームにとって大きかった」、堀内君も「全員の合宿でチームの一体感が強まった。全員で練習できて良かった」と話してくれた。コーチの村中隆之先生は「梅畑が多く、花の咲いている美しい環境で練習でき、とても良かった」と話して下さった。(写真は村中先生に提供いただきました)



山根さんも来て下さった



紅白戦や実戦を想定した守備や走塁練習が行われた。



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号